

令和8年度第1回外部監査委員会報告書

1. 日 時 令和8年7月13日（月）16:00～17:00
2. 場 所 獨協医科大学病院 大会議室
3. 監 査 委 員 委員長 野間 重孝、委員 菊池 不佐男、委員 関根 房三、
委員 石田 和之、委員 小飼 貴彦
4. 出 席 者 副院長・医療安全管理責任者 水島 恒和、副院長 千田 雅之、
看護部長 乾 寛美、薬剤部長 臼井 悟、事務部長、関口 徹、
事務部次長 横山 誠、事務部次長 黒川 慎哉、
庶務課長 手塚 節子、
安全管理者・部門長 矢内原 仁、安全管理者 小林 一葉、
安全管理者 大山 康子、安全管理者 菅沼 良恵、
安全管理者 椎名 治揮、医療安全推進センター課長 山中 仁
【大学】
総務課長 菊池 潤

5. 監査の目的

獨協医科大学病院における医療安全管理の実施に関する業務の実態を把握し、医療に係る安全管理の適正な実施を確保するため監査を実施しました。

6. 監査実施項目

- (1) 年報インシデント・アクシデント事例
- (2) 医療安全講習会
- (3) 医療安全マニュアルの改正（新旧対照表）
 - ・医療安全対策地域連携加算見直し
 - ・中心静脈カテーテル挿入・管理のための指針
 - ・気管切開と気管カニューレの交換等マニュアル
- (4) 医療の質向上に向けた数値目標
- (5) 医療安全に対する取り組み状況
- (6) 高難度新規医療技術
- (7) 身体拘束率及び現状報告
- (8) T e a m S T E P P S実施状況

7. 監査の結果

- (1) 年報インシデント・アクシデント事例

2024年度のインシデント・アクシデント事例について説明をいただきました。総件数は前年度とは大きく変わらず5,852件とのことでしたが、透明性の目安と言われている病床数の5倍の報告件数は達成できています。また、報告の内容については薬剤関連の事例が多い点について確認することができました。引き続き院内での報告文化の醸成に努めていただくことを期待しております。

(2) 医療安全講習会

2025 年度の医療安全講習会の実績並びに 2026 年度の実施計画について、配付資料を基に説明をいただきました。e ラーニングツールも含め、院内受講率の更なる向上を目指し積極的な発信を続けてください。

(3) 医療安全マニュアルの改正（新旧対照表）

- ・医療安全対策地域連携加算見直し
- ・中心静脈カテーテル挿入・管理のための指針
- ・気管切開と気管カニューレの交換等マニュアル

医療安全に係る各種マニュアルの改正状況について、配付資料の指針やマニュアル新旧対照表を基に説明をいただきました。特に、病院等において把握すべき重大事象の類型に関する変更については、A 類型・B 類型に関する追記があった点について確認ができました。また、各種マニュアルは定期的に見直しをすることが重要になりますので、今後も継続的に取り組んでください。

(4) 医療の質向上に向けた数値目標

医療の質向上に向けた院内の数値目標の設定について、配付資料を基に説明をいただきました。院内全 93 部署に対して、安全性、患者中心性、公平性、効率性、適時性、有効性の 6 領域から各部署が 2 項目以上の目標を設定し、A B C D の 4 段階評価で評価を実施したことについて確認できました。数値目標の設定については、最終的なアウトカム目標に向けた適切な数値目標の設定と、その妥当性の検証が必須と考えます。また、各診療科の特性を考慮した目標設定をしていただくことも大切な要素です。職員への周知と意識向上を目的として、今後も継続実施と改善事例の蓄積に努めてください。

(5) 医療安全に対する取り組み状況

医療安全に対する取り組み状況について、配付資料を基に 2 点説明をいただきました。医療安全の実現は医療者だけで実現できるものではなく、患者さんと相互で確認し合うことで成立するという点を再認識することができました。

(6) 高難度新規医療技術

高難度新規医療技術に関する貴院の取り組み状況について、数値を含め説明をいただきました。なお、2025 年度に実施された消化器内科での超音波内視鏡ガイド下血管塞栓術 3 件については有害事象の報告がなく、現在 60 例のモニタリングを継続実施している点についても確認いたしました。

(7) 身体拘束率及び現状報告

身体拘束率及び現状報告について、2024 年度の拘束率の全体平均が約 6.3%、7:1 病棟では 5.1%、精神科病棟では 15.5%という具体的な数値を用いた報告をいただきました。併せて、各部署における対策実施状況についても確認することができました。引き続き対策を継続していただき、拘束率が漸減していくよう取り組んでください。

い。

(8) T e a m S T E P P S実施状況

T e a m S T E P P Sは2024年度から実施されており、受講者数は計1,341名、実施後のアンケート分析からも、受講者は概ねポジティブに受け止めていることを確認いたしました。病院幹部が率先して取り組みに参加している点も評価できるポイントかと存じます。今後も継続して実施し、チーム力の向上に努めてください。

8. その他

医療安全管理の実施に関する業務の実態について監査いたしました。特に大きな問題や指摘事項は見受けられませんでしたので、今後も適正な安全管理に努めてください。

以 上